

## Business Communication Exam.

ビジネス・コミュニケーション検定を通して  
能力の可視化を実現



Strategic Communication Research Institute 株式会社

2018年10月19日

ビジネスにおける自身のコミュニケーション能力は  
何点だと思えますか？

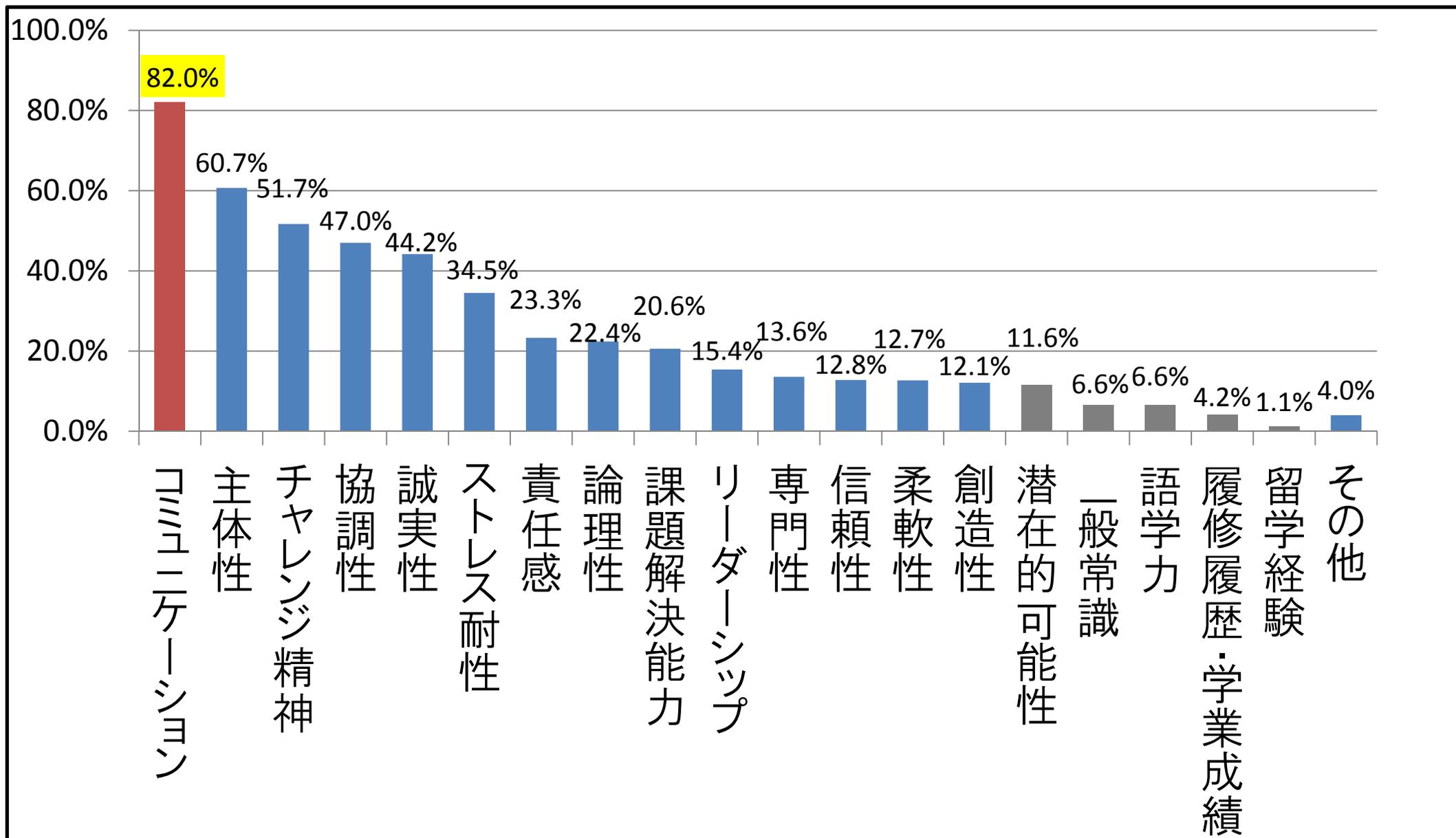
今まで、コミュニケーション能力を  
点数で評価する事は難しいと  
考えていませんでしたか？

ビジネス・コミュニケーション能力を  
定量的に評価できるアセスメントを開発しました



# 企業におけるコミュニケーション能力の重要性

C-Exam. 新卒選考時に最も重視する要件は、15年連続で「**コミュニケーション能力**」



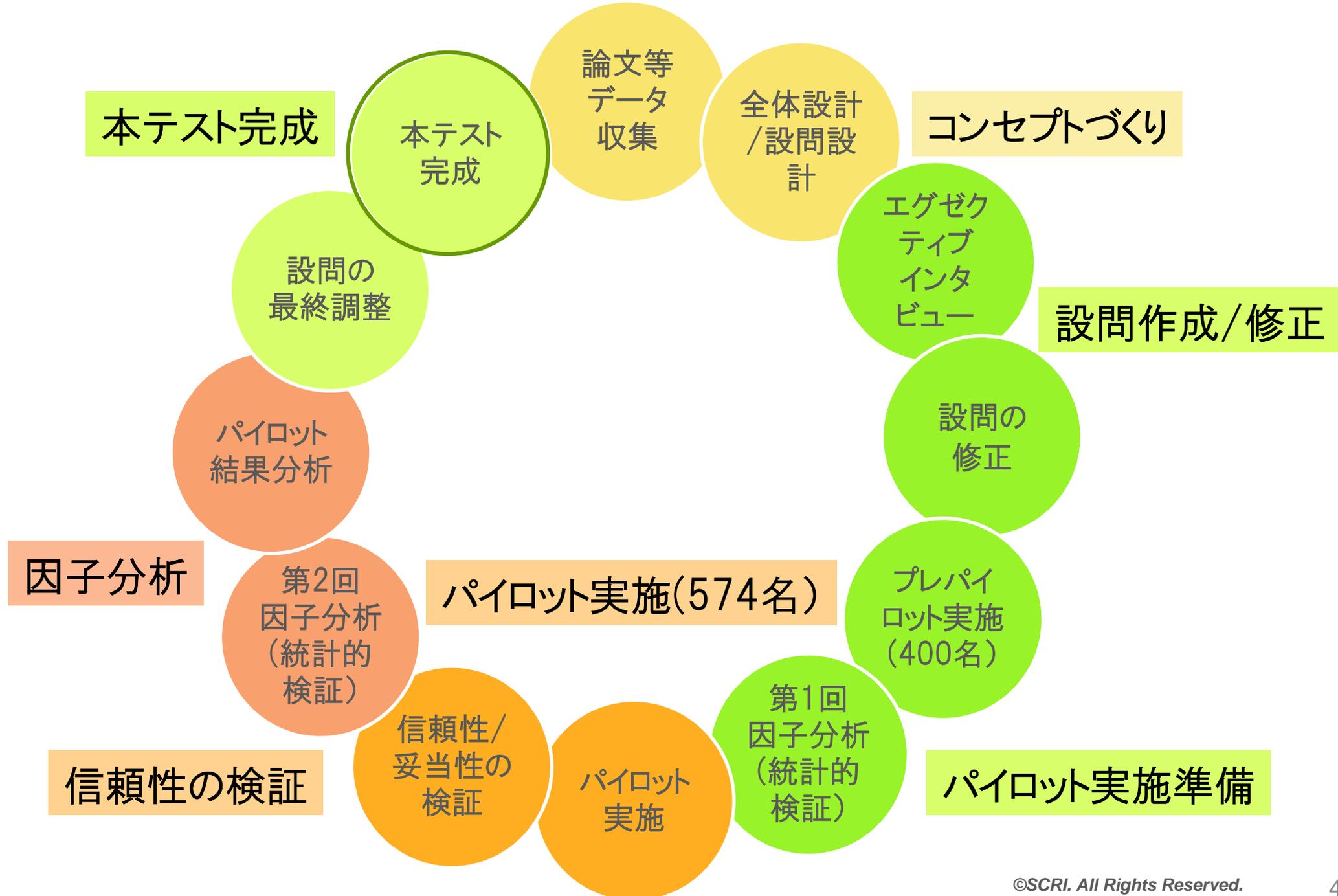
## 【 開発責任者 】

- ◆宮原 哲 (Ph. D)(専門：組織コミュニケーション)  
西南学院大学 教授  
日本コミュニケーション学会会長(開発当時)、  
日米コミュニケーション学会会長(開発当時)
- ◆田崎 勝也 (Ph. D)(専門：異文化コミュニケーション/  
青山学院大学 教授 比較文化心理学)

## 【 開発メンバー 】

- ◆芳賀 日登美 (専門：国際コミュニケーション/社会言語学)  
筑波大学大学院 客員教授 (開発当時)  
(Master of Science in Communication, Master of Sociolinguistics)  
※上記の他、博士課程後期研究生(現在Ph.D取得)

# 開発プロセス(パイロット ~ 検証/分析)



テストの信頼性と妥当性に対しては、パイロットテストの結果を基に、以下の統計分析を使用して検証をおこないました。

信頼性  
クロンバックアルファ係数分析

妥当性  
ピアソン積率相関係数分析

妥当性  
DIF分析

# ビジネス・コミュニケーションスキル検定 プログラム概要

本テストは、ビジネス・コミュニケーションに関する知識と実践力を定量的に測ることができます。(知識項目/60問)

## ビジネス・コミュニケーションスキル

最も適した対応を  
選択する力(知識)

最も適した対応を  
実践する力(実践力)

様々なビジネス状況に、最も適したコミュニケーションの方法を選ぶ力  
および実際のビジネスの場面でのコミュニケーション対応力(実践力)の測定を  
目的としています。

# ビジネス・コミュニケーションスキル検定 プログラム概要

## ビジネス現場におけるコミュニケーション対応力～コンセプト及び因子～

I. グループイニシアティブ  
構築力  
(10問)

II. 2者間での話の  
展開力  
(10問)

III. 複数の人に対する  
話の展開力  
(10問)

ビジネス現場における  
実践的  
コミュニケーション対応力

IV. ビジネスの場で  
期待される判断力を  
含む適応力  
(10問)

V. ビジネスの場で  
期待される報告・伝達  
を含む纏め力  
(10問)

VI. 自己力  
(10問)

全60問  
(4択形式)

# ビジネス・コミュニケーションスキル検定プログラム概要

## ビジネス現場におけるコミュニケーション対応力 1～3

全60問  
(4択形式)

### 1. グループイニシアティブ構築力 (10 問)

- チーム力の発揮 / チームのコミュニケーションの活性化 / 仲間や後輩のモチベーションの向上
- 目標の明確化等リーダーシップに関わるスキル / 周囲との融和
- 相手の気持ちを受け止める等、メンバーの動機づけややる気を引き出すスキル
- 不必要な遠慮をしない / 的確な指摘等、チームの中でのコミュニケーション対応スキル

### 2. 2者間での話の展開力 (10 問)

- 相手の話を聴く / 話を遮らない / 相手の反応や関心度の確認 / アサーティブネス
- 会話の調整力(バランス)等、受信に関わるスキル / 相手を考慮した依頼や断り
- 言いにくいことでも言うべきことは率直に表現できる等のスキル / 期待を察する
- 互いの意見の相違を理解する / 相手の理解度の確認等、双方向のコミュニケーション対応スキル

### 3. 複数の人に対する話の展開力 (10 問)

- プレゼンテーションを能動的に聴く / 聴衆の立場に立ちアクションまで導くプレゼンテーション
- 自分を客観視できる等、大勢の中での受信に関わるスキル / 聴いた話を正確にまとめる
- 話に一貫性を持たせる / わかりやすく要領よく表現できる / 発信に関わるスキル
- 大勢の場での積極的発言等、多数の人へのプレゼンテーションスキル

# ビジネス・コミュニケーションスキル検定プログラム概要

## ビジネス現場におけるコミュニケーション対応力 4～6

### 4. ビジネスの場で期待される判断力を含む適応力 (10 問)

全60問  
(4択形式)

- 相手の状況に配慮する / 状況に合った解決策をとる / 説明にぶれが無い / 対立を恐れない
- つねに代替案を用意している等、効率良くビジネスを運ぶために必要とされるスキル
- 批判を積極的に受け入れる / 不利な事でもきちんと伝える等、困難な状況への対応スキル
- 自分の置かれている状況を判断して行動できる等、状況に適したコミュニケーションをはかるスキル

### 5. ビジネスの場で期待される報告・伝達を含む纏め力 (10 問)

- 話の核を認識している / ポイントを押さえた報告・伝達ができる / 報告等のタイミングを心得ている
- 順序を整理してコンパクトに話ができる等、正確で的確な発信スキル / データに基づいて話をする
- 期待価値を超える報告ができる等のビジネスコミュニケーションスキル / データに基づいて話をする
- 客観的に話をする / ストーリーを用意して要点を分かりやすく説明できる等、プラクティカルなスキル

### 6. 自己力 (10 問)

- 初対面の相手との会話を上手に進行できる / 組織人としての対応 / ビジネスパーソンとしての品格
- 初対面の人にも自分からアクションを起こす等、コミュニケーションを主導するスキル
- ビジネスにおけるマナー等、ビジネスにおいて身につけるべき基本スキル / 克己心
- 異なる文化を持つまたは異なる環境の相手への対応力 / 価値観の異なる人への対応スキル



SCRI

STRATEGIC COMMUNICATION  
RESEARCH INSTITUTE INC.